表5-6 牧草地の施肥基準.

区分			H13年度 播種量[3]	施肥量 (kg/10 a)[1]											
			面積(ha)	(kg/10a)	草地化成 212号	草地化成 211号	複合尿素 燐加安777号	尿素 (46%)	重過石 (38%)	熔燐 (20%)	タンカル	堆肥	成分 N	成分 P_2O_5	成分 K_2O	成分 MgO
耕地内	採草地	早春			20			2.6					5.2	2.0	4.0	
		一番刈後			10			4.1					3.9	1.0	2.0	
		二番刈後			15								3.0	1.5	3.0	
		三番刈後			5					20			1.0	4.5	1.0	
		合計	39.76		50			6.7		20			13.1	9.0	10.0	
	放牧地	早春				20							4.0	2.0	2.0	1.0
		追肥[2]				45							9.0	4.5	4.5	2.3
		合計	8.62			65							13.0	6.5	6.5	3.3
更新地[4]			0.96	3.5			30		30	50	100	2000	5.1	26.5	5.1	
北山放牧地[5]			105.30			40							8.0	4.0	4.0	2.0

水色のセルは報告書が間違っていると思われたため修正

1) 表にあげた施肥基準は収量3tとし、採草地には下記に示す通り,
収量が1t増すごとに草地化成212号を25kg増しとする。
また,

採草地施肥成分(kg/10a)

収量(10a当たり	N	P_2O_5	K_2O
3t	13.1	7.0	10.0
4t	19.1	9.5	15.0
5t	23.1	12.0	20.0
6t	28.1	14.5	25.0

2) 放牧地追肥は年3～5回に分施

3) 播種量及びその混播方法

播種量

品種	播種量(kg)			
オーチャードグラス(OG)	3.5	2.0	2.0	
トオールフェスク(TF)		1.5	0.5	
ペレニアルライグラス(Per)			1.0	
リードキャナリー(RC)				3.5
合計	3.5①	3.5②	3.5③	3.5④

混播方法
①OG単播　②OGとTFの混播
③OG,TF,Perの混播　④RC単播

4)3号(0.30ha) ②
6号(0.66ha) ④

5)北山放牧地追肥日
5月31日　尿　素　70袋(20kg入り)
7月9日　草地化成211号　15袋(400kg入り)
9月26日　草地化成211号　15袋(400kg入り)